

仕様

品名	みのる 除草剤専用散布機		
型式	FT-1830		
愛称	草退治桃太郎		
寸法(幅×奥行×高さ)	43.5cm×24cm×51cm		
重量	4kg		
タンク容量	18ℓ		
噴口	3種類(調節噴口・泡噴口・霧噴口)		
圧力	切替式 高圧…0.2MPa(2kgf/cm ²)・低圧…0.05MPa(0.5kgf/cm ²)		
吐出量	0.4~3.6ℓ/分		

保証書

※本書は再発行しませんので大切に保存してください。

保証規定

- 保証期間内(お買上げ日より1ヶ年)に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - 取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷
- ご購入時に「お買上げ日」「販売店名」が未記入、あるいは字句を書き換えられた場合

保証期間 1ヶ年

お買上げ日 平成 年 月 日

お客様 住所

〒 TEL

ご芳名 様

販売店 住所

店名 印

TEL



みのる産業株式会社

本社・工場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市 447
 TEL.(086)955-1123(代) FAX.(086)955-5520
 東京支店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210
 TEL.(048)683-9451(代) FAX.(048)683-9452
 長野営業所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4
 TEL.(026)257-6530(代) FAX.(026)257-6531
 九州支店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1
 TEL.(092)921-6006(代) FAX.(092)921-6008

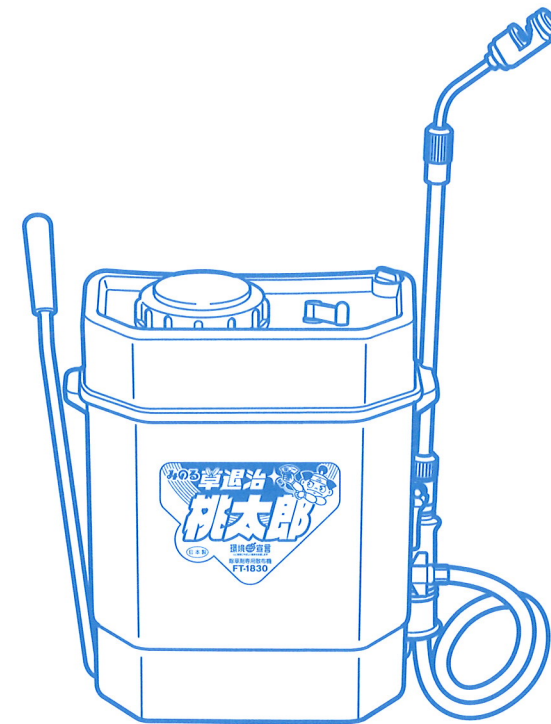
ホームページ <http://www.minoru-sangyo.co.jp>

みのる 除草剤専用散布機 FT-1830

取扱説明書

このたびは、「みのる 除草剤専用散布機」をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、わからないときは再読してください。





FT-1830

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ず守ってください。

●注意事項は、誤った取扱いをすると生じる危害や損害の程度を「 警告」「 注意」の2つに区分し説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容です。
 注意	人が傷害を負う恐れ及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

警告

作業前	農薬以外の薬剤は、使用しないでください。 本体やパッキンの劣化を起こし思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
	使用する農薬の注意事項・被爆したときの処置・使用後の廃棄方法等をよくお読みの上、正しくお使いください。 また、他の容器(清涼飲料水の容器等)への移し替えは、絶対にしないでください。
	作業する前に、必要な点検・注油は必ず行ってください。 ①ホースの接続部はしっかり締まっているか。 ②ホースに破れや穴はないか。 ③薬液タンクのキャップはしっかり締まっているか。 等の点検を忘れないでください。 点検をおこたると、農薬が漏れて思わぬ事故につながります。
	指定以外のアタッチメントの取付や改造は、絶対にしないでください。 故障の原因になるばかりでなく、思わぬ事故の原因になります。
	農薬の調整または作業をする時は、被爆防止のため必ず防護衣、ゴム手袋、農薬用マスク、保護メガネ、ゴム長靴等を着用してください。
作業中	作業を開始する時は、周囲の安全を確認してください。 作業中は、子供その他作業に関係ない人が近づかないように配慮してください。
	風向き等に注意して、農薬を浴びることのないように作業してください。 また、目的物以外のものにかからないよう、周囲の状況に十分注意してください。

安全上のご注意

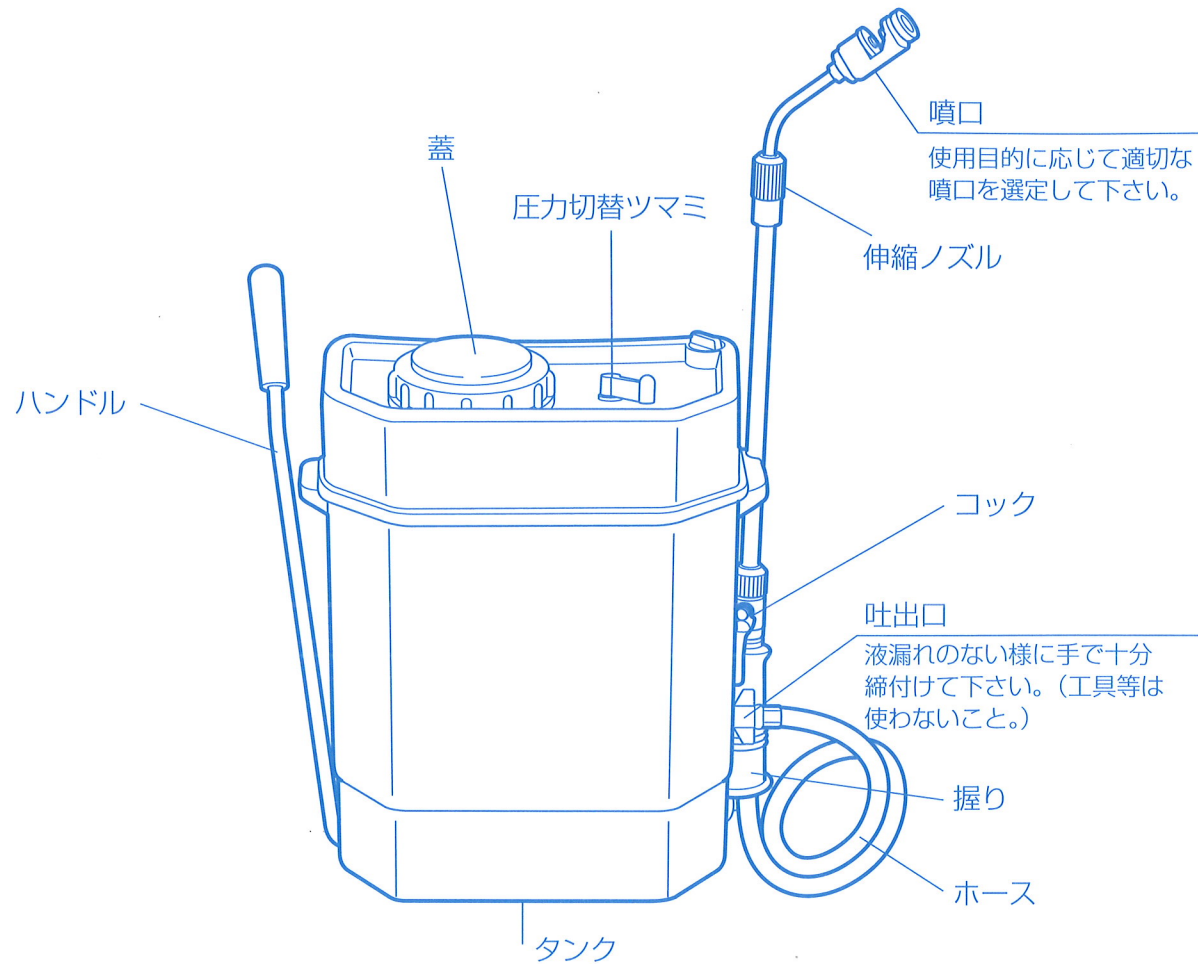
警告

作業後	作業後は顔・手足等皮膚の露出部を石鹸でよく洗い、うがいをしてください。 また、作業途中や作業後は農薬が付着した手で口や目に触れないでください。
	タンク内に農薬が入ったまま保管しないでください。 使用後は、タンクの圧力を抜いてからよく洗浄し、子供の手の届かない場所であって、かつ直射日光のあたらない場所に保管してください。 本機の故障の原因になるばかりでなく、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
	使い残しの農薬や本機の洗浄水は、用水や河川等へ流れ込むことのないよう適正に処理してください。 農薬を不注意に廃棄したり、不用になった農薬を放置したりすると思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
	農薬の空容器の処理は、容器を十分に洗浄した後に廃棄、焼却する等適切に行ってください。
	農薬の管理は、安全な場所に鍵をかけて保管する等十分注意してください。

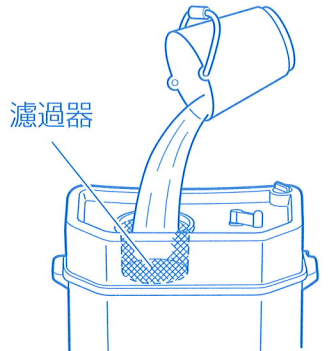
注意

飲酒時、過労ぎみ、病気や妊娠している時は、作業をしないでください。 このような時に作業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こします。 作業する時は、必ず心身とも健康な状態で行ってください。
人に本機を貸す時は、取扱方法をよく説明し、使用前にこの取扱説明書をよく読むように指導してください。 借りた人が本機を誤った使い方をして、思わぬけがなどをすることがあります。
炎天下で長時間作業しないでください。 作業は、風の強くない、朝夕の涼しい時間を選んでください。

各部の名前と扱い方

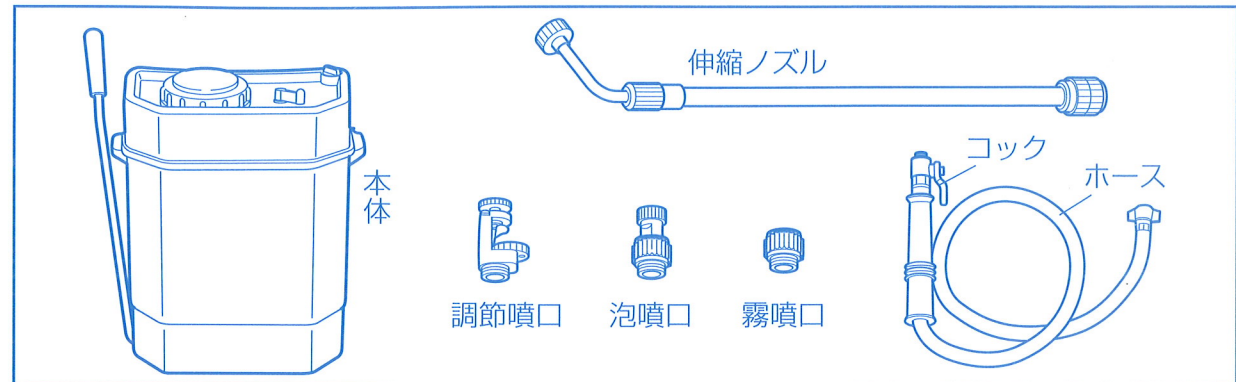


故障になりますから 必ずお守りください。

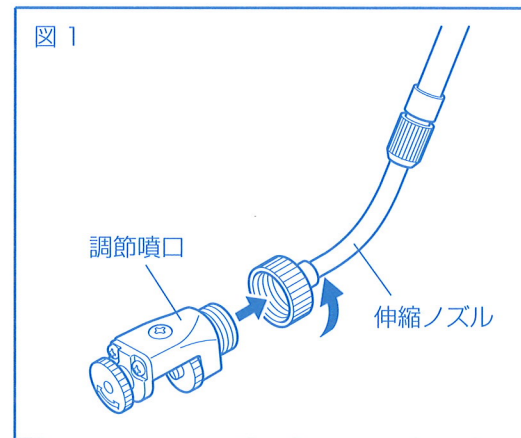
<p>濾過器は外さない。 (噴口がつまります)</p>	<p>下記の薬剤は絶対に 使用しない。</p>	<p>タンク内に薬液が入 ったまま保管しない。 (タンクが膨潤します)</p>
 <p>濾過器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ハエ・蚊などに用いる殺虫剤 ●下水・トイレなどに用いる消毒剤 ●防疫用薬剤 ●畜産用薬剤 	<p>使用後は、残った薬液を必ず排出して、水洗いを十分行います。</p> <p>※ゴーゴーサン、トレファノサイド等の土壌処理剤は特に使用後すぐに水洗いして下さい。</p>

組立

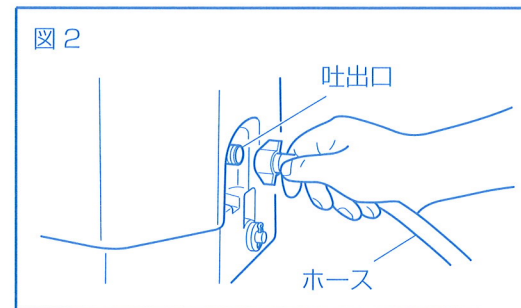
開梱すると本体と次の様な部品が入っています。



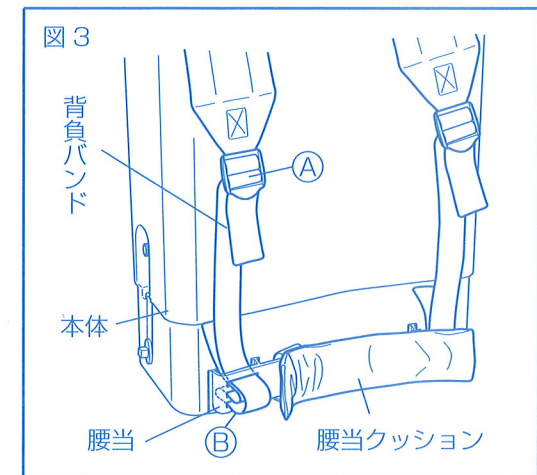
1 伸縮ノズルに噴口、コック、ホースを取付けます。噴口は、“噴口を選定”を参考にして選んで下さい。(図1)



2 本体の吐出口にホースを取付けます。(図2)



3 背負いバンドを体に合った長さに調節して下さい。(図3)



背負いバンドの調節は、(A)と(B)の部分で行います。

※薬液が入ったタンクを背負った状態で調節を行うと落下するおそれがありますので、必ずタンクが空の状態か、背負わずに調節を行って下さい。

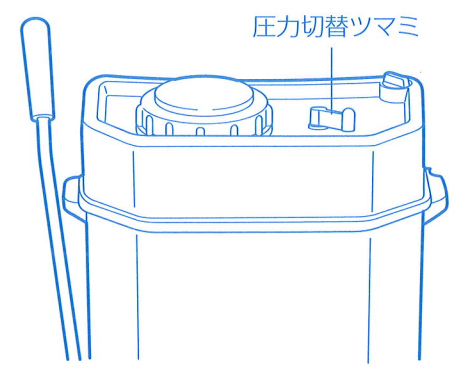
ご使用方法

圧力切替

圧力切替ツマミにより

(1)除草剤の種類 (2)周囲の作物の有無 (3)使用する噴口 (4)風の有無 などによって、
 高圧0.2MPa(2.0kgf/cm²)、低圧0.05MPa(0.5kgf/cm²)に切り替えてお使い下さい。




●出荷時は「高圧」にセットしています。



噴口の選定

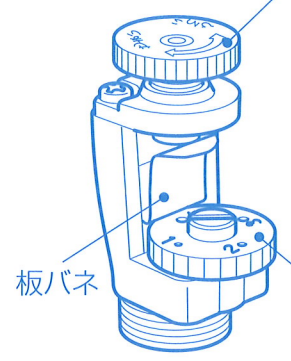
あらゆる除草剤、状況に対応できるよう3種類の噴口を標準装備しております。
 散布基準表を目安に最適の噴口をお使い下さい。

散布基準表

噴口 (吐出穴) 圧力	調節噴口 								霧噴口 		泡噴口 	
	1 (小)		2 (中)		3 (大)		4 (特大)					
	低圧	高圧	低圧	高圧	低圧	高圧	低圧	高圧	低圧	高圧	低圧	高圧
吐出量 (ℓ/分)	0.65	1.3	0.95	1.9	1.3	2.6	1.8	3.6	0.4	0.85	0.4	0.8
10aあたり散布量(ℓ) (10a40分で散布したとき)	25	50	40	80	50	100	70	140	16	35	16	32
用途	・全面散布 ・帯状散布 (散布幅自在調節) ・畦 畔 ・畝 間								・全面散布 ・雑草が密生 ・草丈が高い		・ラウンドア ップ専用	

ご使用方法

調節噴口の使い方

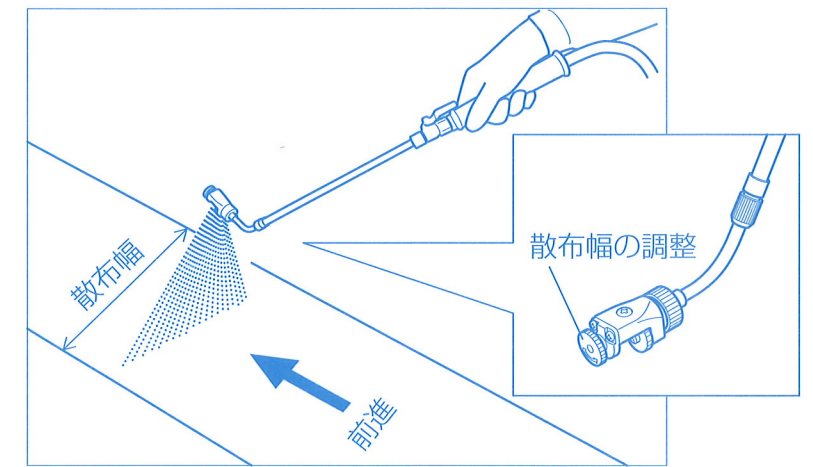


散布幅調節ネジ
 右に回せば狭くなり、左に回せば広がります。
 左(ひろい)いっぱい回して散布すると、両端の飛びが揃わない時がありますので、そのときは少し右(せまい)に戻して下さい。
 散布幅調節ネジは必要以上に左(ひろい)に強く回さないで下さい。
 抜け止めストッパー(Eリング)が外れることがあります。

回転式(吐出量調節)噴板
 吐出穴が、1(小)、2(中)、3(大)、4(特大)と1/4回転づつ変わります。
 吐出穴は必ず板バネの中央になるよう確実に回して下さい。

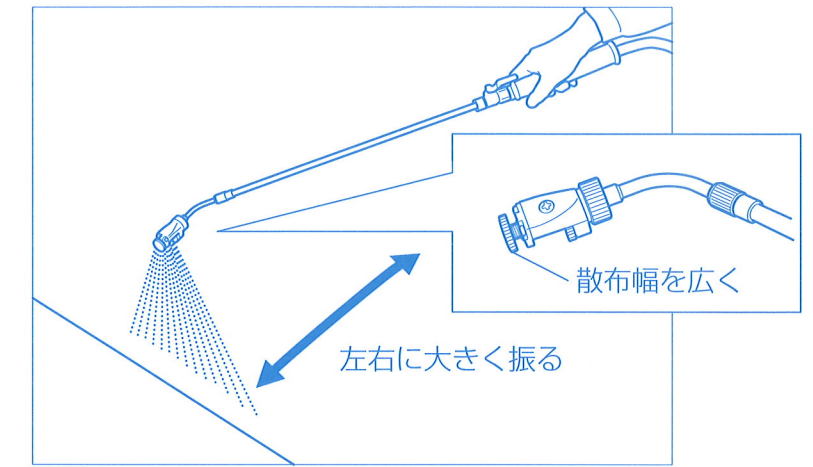
畦畔・畝間散布

畦畔又は畝間の幅に合せ散布幅調節ネジで散布幅を設定し、右図のように前進して散布します。



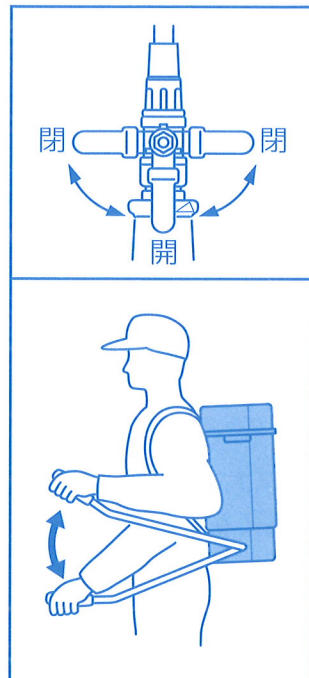
全面散布

調節噴口を少し左にねじり、散布幅調節ネジで散布幅を広くして伸縮ノズルを左右に振って散布します。

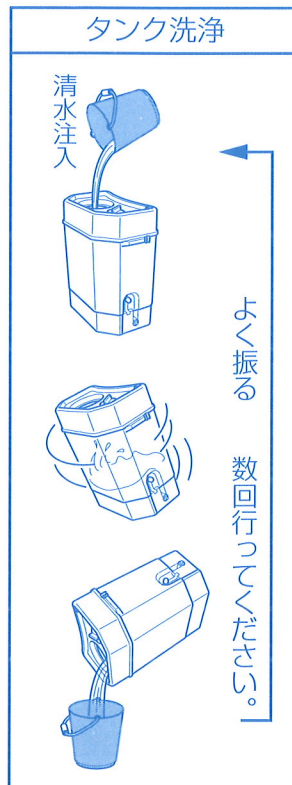


ご使用方法

- 1 コックを閉にし、タンクに薬液を入れます。
- 2 ハンドルを10回程度上下して加圧します。
- 3 コックを開にすると散布が始まります。散布状態を見ながらハンドルを上下してください。



- 4 作業が終了したら、残った薬液は、安全な場所に取り出してください。
 - 5 水洗いを十分行います。
- ※コックを開き、ハンドルを数回上下してダイヤフラム内も洗浄してください。
- 最後は水抜口栓を外して排出してください。
 - 水洗い後は乾かして日陰に保管してください。



- 本機は定圧装置により一定圧力(高圧0.2MPa(2.0kgf/cm²)、低圧0.05MPa(0.5kgf/cm²)になると、“ブーブー”と音がしてそれ以上圧力はかかりません。この音は故障ではありません。音が時々する位にハンドルを上下すれば、能率的で適切な圧力が得られます。
- タンク内の薬液が少なくなり、空気が混じった散布になったら、タンクを右に傾けながら散布して下さい。残液量がほとんど無くなります。

泡噴口は最初から空気の混じった散布になります。

注意

本機は、除草剤専用散布機としてお使い下さい。殺菌剤や殺虫剤の散布と兼用すると、洗浄が不十分な場合に薬害が出る可能性があります。

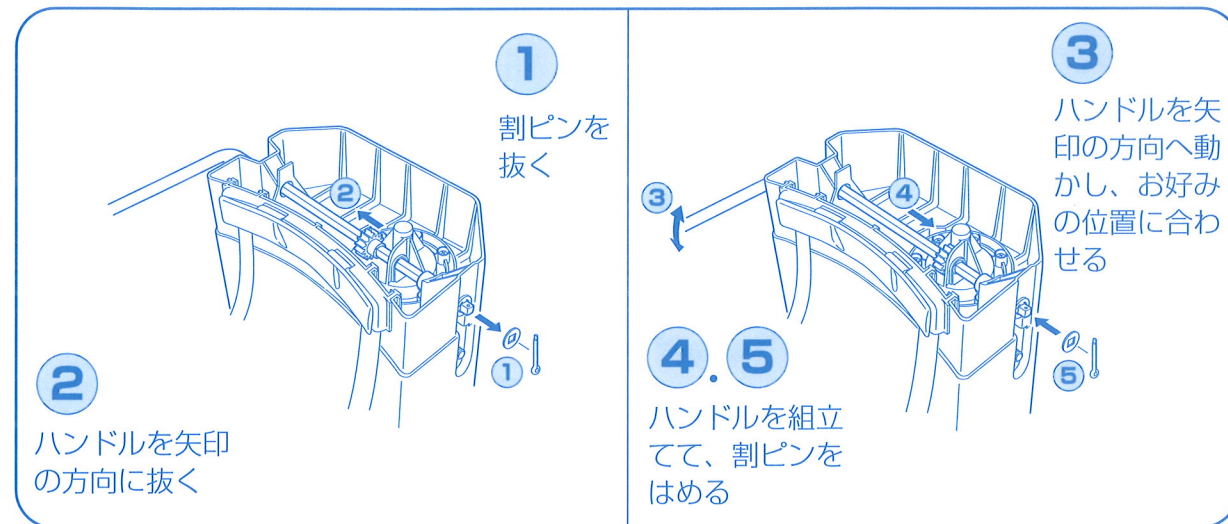
保管

使用後はタンク内及び噴管内を水洗いし、乾燥させた後、日陰に保管して下さい。

- タンク内に薬液が残ったまま保管しないで下さい。
- 直射日光の当る場所に長時間放置しないで下さい。

ハンドルの調節

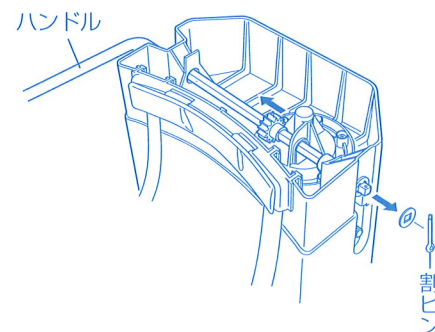
ハンドルの高さが合わない場合は、下図の要領で調節して下さい。



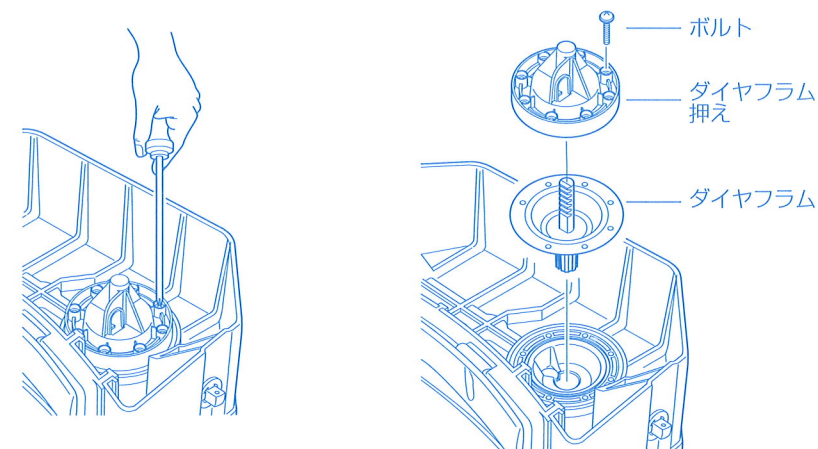
分解のしかた

●ダイヤフラム関係

- 1 割ピンを抜きハンドルを外す。



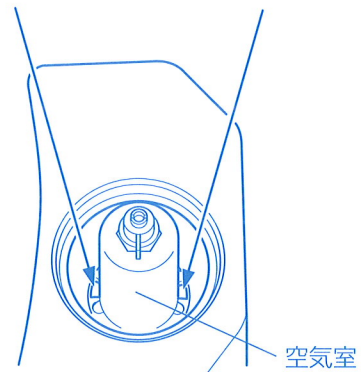
- 2 8本のボルトを外し、ダイヤフラム押え、ダイヤフラムを外す。



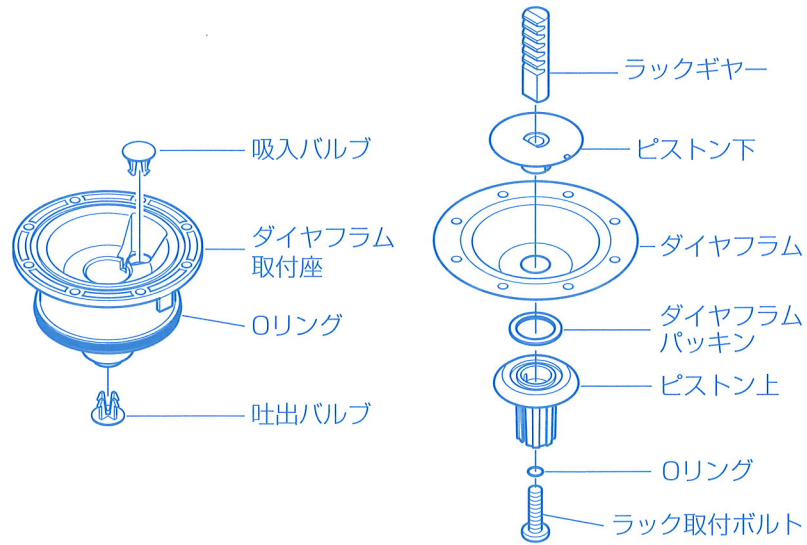
分解のしかた

3 空気室外側の2本のツメをドライバー等で下に強く押し、ダイヤフラム取付座を外す。

2本のツメを下に強く押し



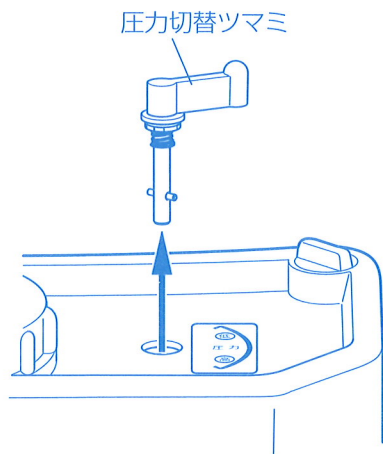
空気室



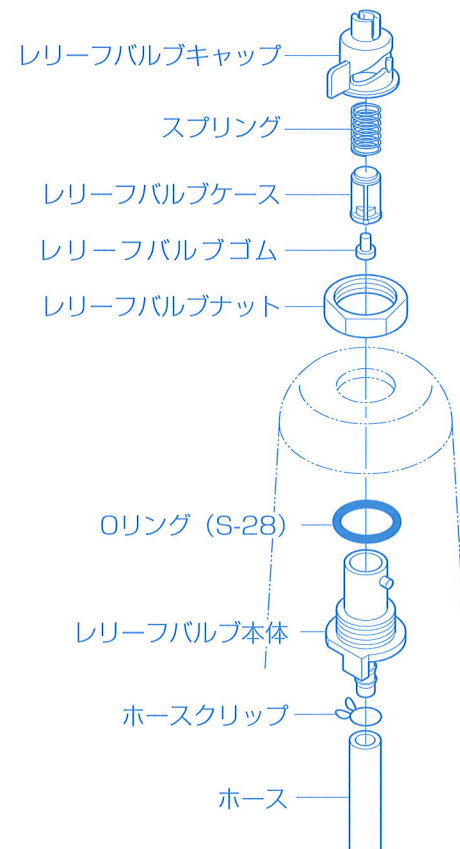
●レリーフバルブ関係

1 圧力切替ツマミAYを外す。

※圧力切替ツマミを上を強く引き取り外す



圧力切替ツマミ



2 レリーフバルブキャップを切欠きに合せ外す。

3 レリーフバルブナットを外す。

故障かな?と思ったときは…

症状	原因	直し方	注意事項
圧力が上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> タンクの膨潤によりダイヤフラム取付座のOリングから漏れている。 	<ul style="list-style-type: none"> タンクを交換する。 タンクの膨潤が軽微な場合は、太いOリング(ORV85)に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ハエ・蚊などに用いる殺虫剤、下水・トイレに用いる殺虫剤、防疫用薬剤、畜産用薬剤は使用しない。
	<ul style="list-style-type: none"> 吸入バルブ・吐出バルブにゴミ等が詰まり動きが悪い。 レリーフバルブ面に砂、ゴミ等がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 分解掃除をする。 分解掃除をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 濾過器を必ず使用すること。 レリーフバルブキャップの切欠き部から外す。
液漏れする。	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤフラム押えの締付不足。 ラック取付ボルトの締付不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ネジを増し締めする。 ネジを増し締めする。 	<ul style="list-style-type: none"> 8本のボルトを平均に締める。